

非正規社員の待遇改善と雇用の未来図

—沖縄から同一労働同一賃金原則を問う—

- 【日 時】 2016 年 10 月 29 日(土) 午後 2 時～4 時
【会 場】 3 号館 101 教室
【登壇者】 山田省三（中央大学法科大学院教授）
島袋隆志（沖縄大学法経学部准教授、
沖縄大学地域研究所副所長）
【聴講料】 300 円
【主催】 沖縄大学地域研究所
【参加人数】 25 名
【参加者内訳】 一般 15 名、本学同窓会 0 名、本学後援会 0 名、沖大生 7 名、
学生 2 名、本学教職員 1 名

■ 感想

1. 島袋先生のお話は、今後の展開に望みをつないだお話しでした。地域社会の問題、貴大学の地域研究所でもっと深く掘り下げて行って、また企画してほしいです。山田先生のお話は、法律を分かりやすく解説して頂いたと思います。それでもまだ分からない部分ありましたが、レジュメを読み返し、職員 3 人の職場（正規 1 名、他 2 名非正規）での私の立場を考えていきたいです。業務の過重負担を感じる日々なので。（40 代女性）
2. 私は、まだ学生で実社会のことは良く分からないのですが、本日の講座を受講して法的にパートタイム労働者とは何なのか知ることが出来ましたし、判例など通して労働法 20 条のいう「不合理」についても、以前より理解する事ができました。本日はとても勉強になりました。ありがとうございます。（20 代男性）
3. 島袋先生の説明は、とても聞きやすく分かりやすかったです。（40 代男性）
4. 後半は専門部分が多く大変でしたが、解釈と規定次第でどうにか判りました。（20 代男性）

■ 大学の取組等にご意見・ご要望

1. 土曜教養講座は興味深い内容を企画していますね。今まで機会がなくて受けられませんでしたが、今後もぜひ色々な企画をして下さい。（40 代女性）

以上